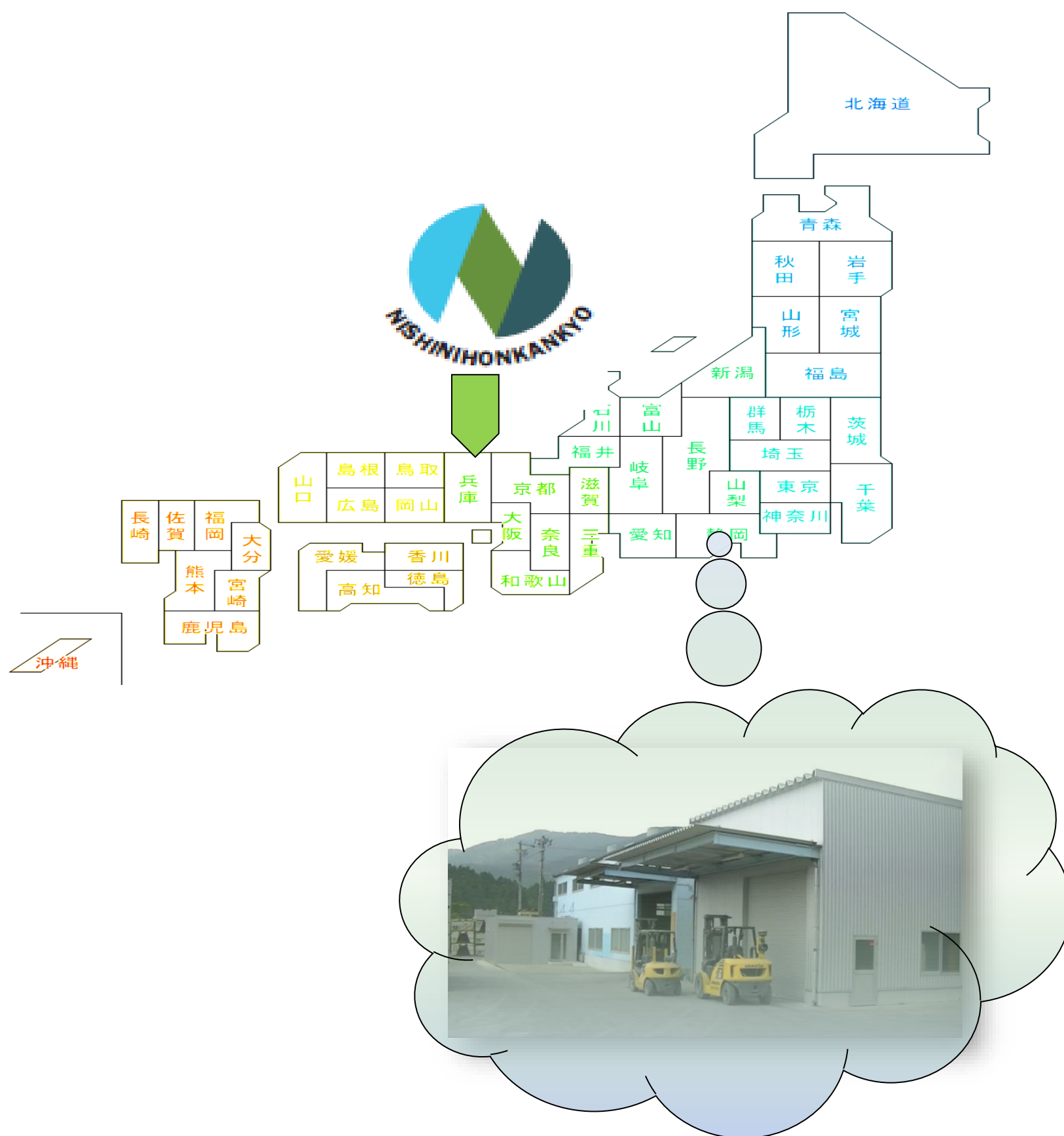




株式会社西日本環境 NISHINIHONKANKYO CO.,LTD.

環境省
エコアクション21
認証番号0012967

2023 年度 環境経営レポート (対象期間：2023年6月～2024 年5月)



発行日：2024年9月2日
修正日：2024年12月5日

I. 環境経営方針

ご 挨 拶

株式会社西日本環境は、全国の火葬場から排出される残骨灰を収集運搬し、残滓中間処理及び残骨の最終埋葬を活動範囲とする企業です。昭和16年に創業し、平成元年に法人成以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら、堅実な経営を維持して参りました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一歩を踏み出しております。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

株式会社西日本環境は、全国の火葬場から排出される残骨灰等の処理に関し、選別した残骨を墓地、埋葬法に準じて丁重に埋葬し、その残余については、廃掃法に準じて適正に処理を行います。その過程においては、地球温暖化への対処や地域環境の保全と改善活動に自主的・積極的に取り組むことで、環境を重視した経営を継続して推進してまいります。

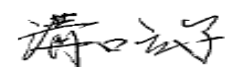
1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
(電力、都市ガス、ガソリン、軽油、LPG)
3. 廃棄物の削減と、リサイクルに取り組めます。
4. 水使用量の削減に取り組めます。
5. 環境に配慮した収集運搬及び最終埋葬に取り組めます。

この環境経営方針は全従業員に周知します。

制定日：2019年5月30日

改定日：2020年6月 1日

代表取締役社長



II. 組織の概要

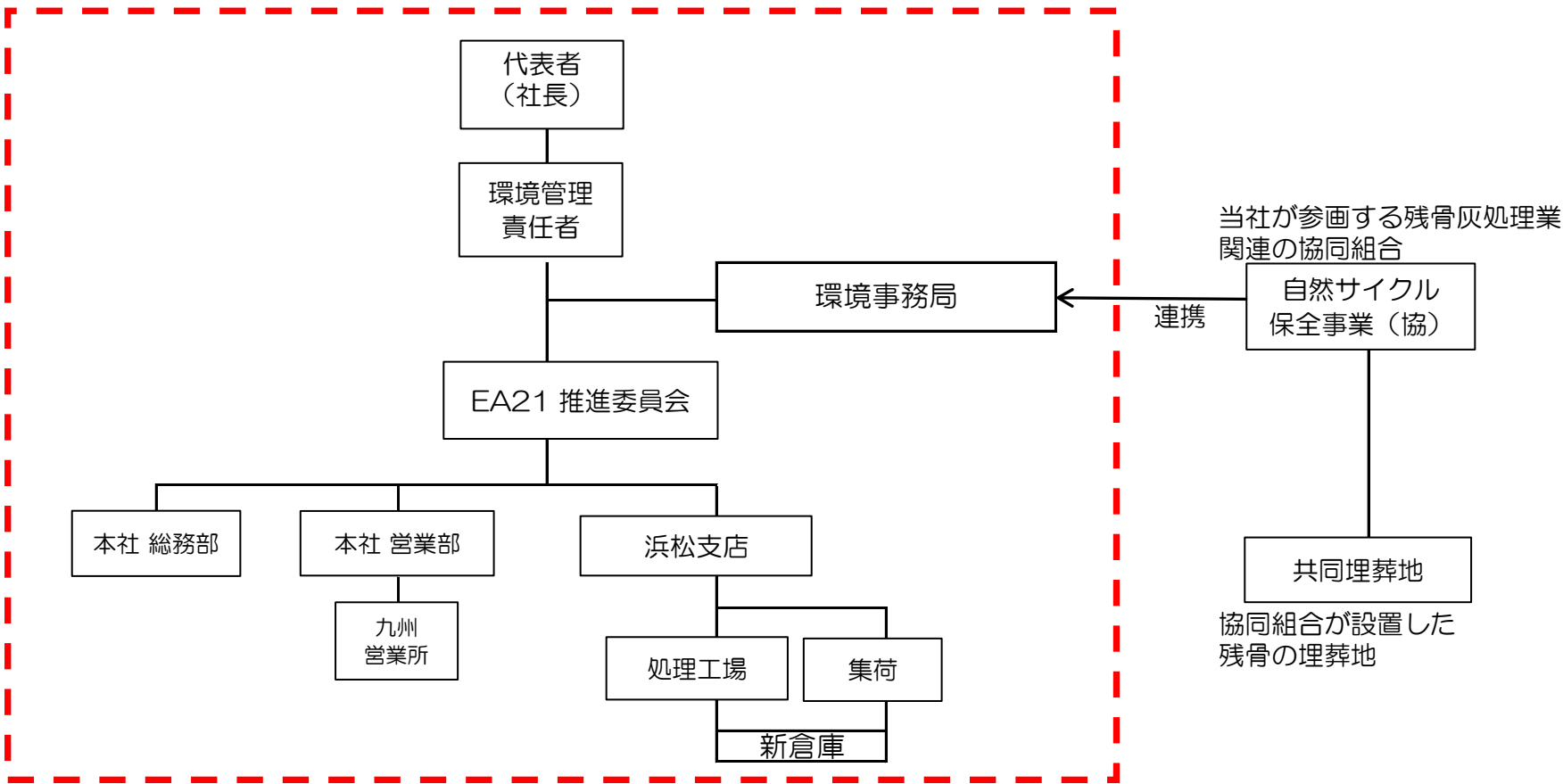
- (1) 名称及び代表者名
株式会社 西日本環境
代表取締役社長 溝口 立子
- (2) 所在地
本社・本館 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町7丁目3番2号
本社・別館 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町7丁目2番5号（R3.4設置）
浜松支店・工場 〒431-2226 静岡県浜松市浜名区引佐町谷沢926-14
浜松支店・新倉庫 〒431-2226 静岡県浜松市浜名区引佐町谷沢930-2（R3.4設置）
九州営業所 〒865-0102 熊本県玉名郡和水町久井原字笠石840番
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者 顧問 穴田 正幸 TEL：078-643-2809
担当者 総務部 鵜崎 由美子 FAX：078-643-1966
E-Mail：y.uzaki@n-nihon.co.jp
- (4) 事業内容
①残骨灰等の収集運搬業
②残骨灰等の残滓中間処理業
③残骨最終埋葬業
- (5) 法人設立年月日 ： 平成1年12月15日
- (6) 資本金 ： 10百万円
- (7) 事業の規模(2023年度実績)

売上高	782 百万円
①残骨灰等の収集運搬量	431.5 トン
②残骨灰等の残滓中間処理量	431.5 トン
③残骨手選別量	3.2 トン

事業所	本社 (本館・別館)	浜松支店 (工場・新倉庫)	九州 営業所	合計
従業員(人)	11	10	1	22
延床面積(㎡)	651.06	1169.25	97.20	1,917.51
敷地面積(㎡)	554.17	11,462.00	641.00	12,657.17

- (8) 事業年度 6月～翌年5月

- (9) 組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・効果的で必要十分な実施体制の構築 ・環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認及び遵守評価承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・本社及び浜松支店・工場の遵守状況を環境管理責任者に報告する ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
EA21 推進委員会	・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・環境関連法規制等の遵守状況を環境事務局へ報告 ・環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理
部門長（支配人）	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・自部門における環境経営システムの実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(10) 施設等の状況

①使用車両

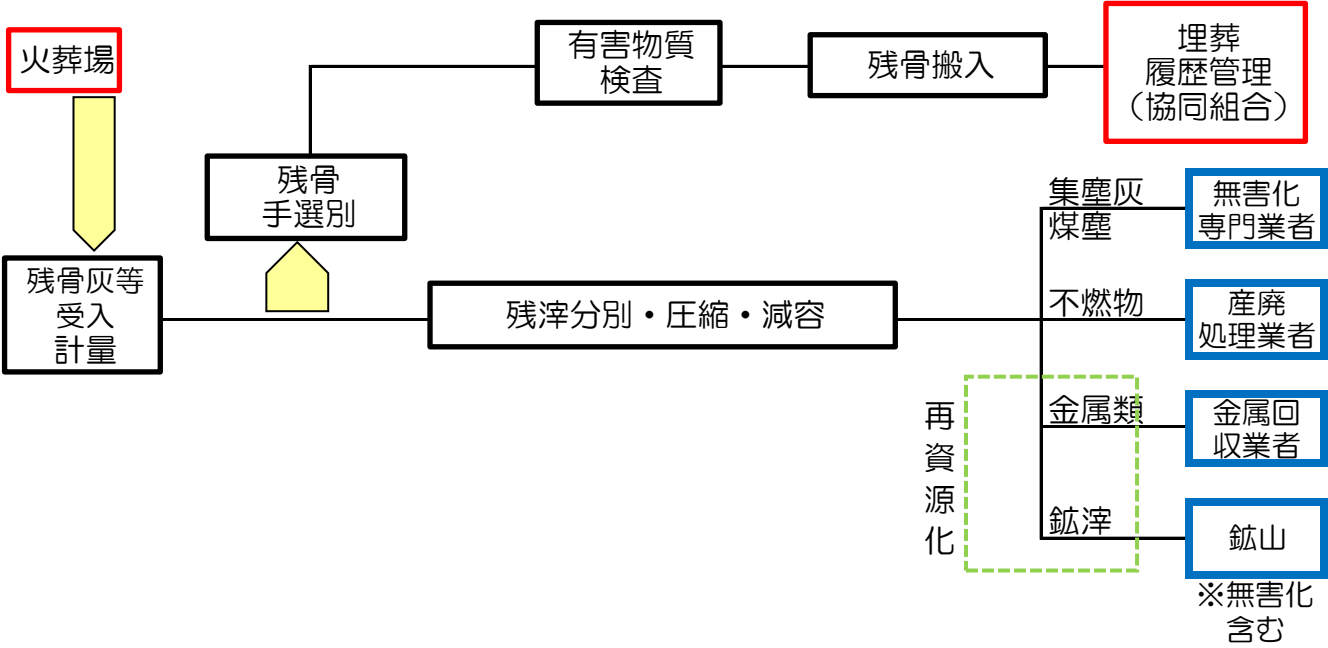
本社：乗用車5台
浜松支店：乗用車1台・トラック3台・吸引車1台・TCMショベルカー1台・フォークリフト4台

②中間処理工場

浜松支店

施設の種類	分別・圧縮・減容施設	
処理する種類	火葬場残骨灰等	
主要機器	・トロンメル（回転ふるい機）1台 ・ミックスマラー（粉碎機）4台 ・振動コンベア式ふるい機1台 ・3段円振ふるい機1台 ・4段円振ふるい機1台 ・集塵機大型1台 ・集塵機中型2台 ・コンプレッサー1台 ・ボールミル1台 ・バケットエレベーター1台 ・磁選機2台 ・除鉄機1台 ・大型計量器1台	

(処理工程図)



Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社西日本環境

対象事業所：本社・本館、本社・別館
浜松支店・工場、浜松支店・新倉庫、九州営業所

対象外：なし

活動：①残骨灰等の収集運搬業
②残骨灰等の残滓中間処理業
③残骨最終埋葬業

IV. 主な環境負荷の実績
(取りまとめ)

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	111,685	117,980	114,199	
電力使用量	kWh	78,189	82,045	87,605	
ガソリン使用量	L	7,263	6,603	6,090	
軽油使用量	L	25,385	28,235	26,422	
都市ガス使用量	m ³	81.1	81.1	73.7	
液化石油ガス使用量	kg	101.4	91.7	90.3	
一般廃棄物排出量 ※1	kg	452.8	462.4	662.4	
産業廃棄物排出量 ※2	t	492.7	490.9	406.6	
特別管理産業廃棄物排出量	t	13.5	13.8	22.1	
収集運搬廃棄物のリサイクル率	%	87.1	85.6	82.6	
水使用量(浜松支店の雨水除く)	m ³	457.5	474.7	533.3	

(本社)

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	22,650	20,471	18,652	
電力使用量	kWh	21,449	22,490	22,490	
ガソリン使用量	L	6,516	5,820	5,043	
都市ガス使用量	m ³	81.1	81.1	73.7	
一般廃棄物排出量 ※1	kg	452.8	462.4	604.3	
水使用量	m ³	178.5	190.7	187.3	

(浜松支店)

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	89,035	97,509	95,547	
電力使用量	kWh	56,740	59,555	65,115	
ガソリン使用量	L	747	782	1,047	
軽油使用量	L	25,385	28,235	26,422	
液化石油ガス使用量	kg	101.4	91.7	90.3	
一般廃棄物排出量 ※1	kg	0.0	0.0	58.1	
産業廃棄物排出量 ※2	t	492.7	490.9	406.6	
特別管理産業廃棄物排出量	t	13.5	13.8	22.1	
収集運搬廃棄物のリサイクル率	%	87.1	85.6	82.6	
水使用量(浜松支店の雨水除く)	m ³	279.0	284.0	346.0	

・化学物質は使用実績なし

※1 再資源化ごみ含む(2023年12月から計量開始)

※2 浜松支店の産業廃棄物量含む

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標（取りまとめ）

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年度値	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	111,685	110,568	109,451	108,334
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
① 電力使用量削減	kWh	78,189	77,407	76,625	75,843
	kg-CO2	28,863	28,574	28,286	27,997
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
②ガソリン使用量削減	L	7,263	7,190	7,118	7,045
	kg-CO2	16,850	16,682	16,513	16,345
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
③軽油使用量削減	L	25,385	25,131	24,877	24,623
	kg-CO2	65,492	64,837	64,182	63,527
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
④都市ガス使用量削減	Nm ³	81.1	80.2	79.4	78.6
	kg-CO2	175	173	172	170
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
⑤液化石油ガス使用量削減	Kg	101.4	100.4	99.4	98.4
	kg-CO2	304	301	298	295
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
II.廃棄物排出量の削減	kg	452.8	448.3	443.7	439.2
①一般廃棄物（可燃ごみ）の削減	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
②収集運搬廃棄物のリサイクル率向上	リサイクル率	87.1%	87.5%	88.0%	88.4%
	対基準（%）	100	+0.5%	+1.0%	+1.5%
III.水使用量の削減 （浜松支店の雨水は除く）	m ³	457.5	453.0	448.4	443.8
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
IV.収集運搬における環境配慮 （収集運搬車の運搬効率向上）	k g/L	21.1	21.3	21.5	21.8
	対基準（%）	100	+1%	+2%	+3%
V.埋葬における環境配慮	清掃回数	7	7	7	7
	対基準（%）	100	-	-	-

※1 電力による二酸化炭素排出量（2021年度の調整後二酸化炭素排出係数を使用）
関西電力(株)0.350 kg-CO₂/kWh・中部電力ミライズ(株)0.379 kg-CO₂/kWh・リコージャパン(株)0.302 kg-CO₂/kWh

※2 化学物質は未使用

(2) 年度中の実績（取りまとめ）

		2021年度	2023年度における実績			
			運用期間（2023年6月～2024年5月）			
		基準値	目標	実績	達成度（%）	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	111,685	109,451	114,199	95.8	△
	対基準（%）	100	△2%	102.3%		
① 電力使用量削減	kWh	78,189	76,625	87,605	89.9	×
	kg-CO2	28,863	28,286	31,471		
	対基準（%）	100	△2%	109.0%		
②ガソリン使用量削減	L	7,263	7,118	6,090	116.9	○
	kg-CO2	16,850	16,513	14,129		
	対基準（%）	100	△2%	84%		
③軽油使用量削減	L	25,385	24,877	26,422	94.2	×
	kg-CO2	65,492	64,182	68,170		
	対基準（%）	100	△2%	104%		
④都市ガス使用量削減	m ³	81.1	79.4	73.7	107.8	○
	kg-CO2	175	172	159		
	対基準（%）	100	△2%	90.9%		
⑤液化石油ガス使用量削減	Kg	101.4	99.4	90.3	110.1	○
	kg-CO2	304	298	271		
	対基準（%）	100	△2%	89.0%		
II.廃棄物排出量の削減	kg	452.8	443.7	484.0	91.7	×
①一般廃棄物（可燃ごみ）の削減	対基準（%）	100	△2%	106.9%		
②収集運搬廃棄物のリサイクル率向上	リサイクル率	87.1%	87.9%	82.6%	93.9	×
	対基準（%）	100	+1.0%	94.8%		
III.水使用量の削減 （浜松支店の雨水は除く）	m ³	457.5	448.4	533.3	84.1	×
	対基準（%）	100	△2%	117%		
IV.収集運搬における環境配慮 （収集運搬車の運搬効率向上）	k g/L	21.1	21.5	17.4	80.6	×
	対基準（%）	100	△2%	82%		
V.埋葬における環境配慮	回数	7	7	5	71.4	×
	対基準（%）	100	-	-		

注)評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

(1) 中長期目標（本社）

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年度値	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	22,650	22,423	22,197	21,970
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
① 電力使用量削減	kWh	21,449	21,235	21,020	20,806
	kg-CO2	7,359	7,285	7,211	7,138
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
②ガソリン使用量削減	L	6,516	6,450	6,385	6,320
	kg-CO2	15,116	14,965	14,814	14,663
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
④都市ガス使用量削減	m³	81.1	80.2	79.4	78.6
	kg-CO2	175.1	173.3	171.6	169.8
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
II.廃棄物排出量の削減	kg	452.8	448.3	443.7	439.2
①一般廃棄物（可燃ごみ）の削減	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
III.水使用量の削減	m³	178.5	176.7	175.0	173.2
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%

※1 電力による二酸化炭素排出量（2021年度の調整後二酸化炭素排出係数を使用）
関西電力(株)0.350 kg-CO₂/kWh・中部電力ミライズ(株)0.379 kg-CO₂/kWh・リコージャパン(株)0.302 kg-CO₂/kWh
※2 化学物質は未使用

(2) 年度中の実績（本社）

		2021年度	2023年度における実績			
			運用期間（2023年6月～2024年5月）			
		基準値	目標	実績	達成度（%）	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	22,650	22,197	18,652	119.0	○
	対基準（%）	100	△2%	82%		
① 電力使用量削減	kWh	21,449	21,020	22,490	106.2	○
	kg-CO2	7,359	7,211	6,792		
	対基準（%）	100	△2%	92%		
②ガソリン使用量削減	L	6,516	6,385	5,043	126.6	○
	kg-CO2	15,116	14,814	11,701		
	対基準（%）	100	△2%	77%		
④都市ガス使用量削減	m³	81.1	79.4	73.7	107.8	○
	kg-CO2	175	172	159		
	対基準（%）	100	△2%	90%		
II.廃棄物排出量の削減	kg	452.8	443.7	484.0	91.7	×
①一般廃棄物（可燃ごみ）の削減	対基準（%）	100	△2%	106%		
III.水使用量の削減	m³	179	175	187	93.4	×
	対基準（%）	100	△2%	104%		

注) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

(1) 中長期目標（浜松支店）

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年度値	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	89,035	88,145	87,254	86,364
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
① 電力使用量削減	kWh	56,740	56,173	55,605	55,038
	kg-CO2	21,504	21,289	21,074	20,859
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
②ガソリン使用量削減	L	747	740	732	725
	kg-CO2	1,734	1,717	1,699	1,682
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
③軽油使用量削減	L	25,385	25,131	24,877	24,623
	kg-CO2	65,492	64,837	64,182	63,527
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
⑤液化石油ガス使用量削減	Kg	101.4	100.4	99.4	98.4
	kg-CO2	304	301	298	295
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
②収集運搬廃棄物のリサイクル率向上	リサイクル率	87.1%	87.5%	88.0%	88.4%
	対基準（%）	100	+0.5%	+1.0%	+1.5%
Ⅲ.水使用量の削減 （浜松支店の雨水は除く）	m ³	279	276	273	271
	対基準（%）	100	△1%	△2%	△3%
Ⅳ.収集運搬における環境配慮 （収集運搬車の運搬効率向上）	k g/L	21.1	21.3	21.5	21.8
	対基準（%）	100	+1%	+2%	+3%

※1 電力による二酸化炭素排出量（2021年度の調整後二酸化炭素排出係数を使用）
関西電力（株）＝0.350 kg-CO₂/kWh・中部電力ミライズ(株)＝0.379 kg-CO₂/kWh・リコージャパン(株)＝0.302 kg-CO₂/kWh

※2 化学物質は未使用

(2) 年度中の実績（浜松支店）

		2021年度	2023年度における実績			
			運用期間（2023年6月～2024年5月）			
		基準値	目標	実績	達成度（%）	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	89,035	87,254	95,547	91.3	×
	対基準（%）	100	△2%	107.3%		
① 電力使用量削減	kWh	56,740	55,605	65,115		
	kg-CO2	21,504	21,074	24,679	85.4	×
	対基準（%）	100	△2%	114.8%		
②ガソリン使用量削減	L	747	732	1,047		
	kg-CO2	1,734	1,699	2,428	70.0	×
	対基準（%）	100	△2%	140.0%		
③軽油使用量削減	L	25,385	24,877	26,422		
	kg-CO2	65,492	64,182	68,170	94.2	×
	対基準（%）	100	△2%	104.1%		
⑤液化石油ガス使用量削減	Kg	101.4	99.4	90.3		
	kg-CO2	304	298	271	110.1	○
	対基準（%）	100	△2%	89.0%		
②収集運搬廃棄物のリサイクル率向上	リサイクル率	87.1%	87.9%	82.6%	93.9	×
	対基準（%）	100	+1.0%	94.8%		
Ⅲ.水使用量の削減 （浜松支店の雨水は除く）	m ³	279	273	346	79.0	×
	対基準（%）	100	△2%	124.0%		
Ⅳ.収集運搬における環境配慮 （収集運搬車の運搬効率向上）	k g/L	21.1	21.5	17.4	80.6	×
	対基準（%）	100	△2%	82.2%		

注) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

Ⅵ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容（取りまとめ）

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量総量の削減		
《目標未達成》		
・下記の通り	○	業務量の増加によりわずかに目標達成に届かず。
電力による二酸化炭素排出量の削減		
《目標未達成》		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	従業員の増加や気温により電気使用量が増加した。取り組みは実施できていたので今後も推進して行きたい。
・不要照明の消灯	○	
・処理工程の待機時間短縮	○	
・空運転時の電源停止	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減（ガソリン）		
《目標達成》		
・効率的なルートで収集	◎	効率的な営業と、エコカーの導入により目標が達成できた。次年も同様に推進したい。
・エコドライブ10の実行	◎	
・アイドリングストップ		
・急加速・急停車の防止		
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減（軽油）		
《目標未達成》		
・効率的なルートで収集	◎	アイドリングストップ、効率的な収集運搬を心がけたが、業務量の増加により達成できなかった。続けて取組を実施したい。
・エコドライブ10の実行	◎	
・アイドリングストップ		
・急加速・急停車の防止		
・都市ガス・液化石油ガス使用量の削減		
《目標達成》		
・無人時のストーブ停止	◎	気温上昇により暖房器具の使用量が減少した。寒暖に左右されるが、厚着するなどで対応したい。
・一般廃棄物の削減		
《目標未達成》		
・コピー紙の裏紙使用	◎	裏紙の使用、事務用品の節約は、関係者が積極的に実施してきたが、従業員の増加やコンペの参加による書類増加など、数値としては目標達成できなかった。
・事務用品の節約	◎	
・リサイクル推進	◎	
収集運搬廃棄物のリサイクル率向上		
《目標未達成》		
・手選別の徹底	◎	分別の徹底を行い、再資源化量を増やすことに努めた。業界的にリサイクル可能な物が減少傾向にある。次年も推進して行きたい。
・分別の徹底	◎	
・リサイクルルートの拡大	△	
水使用量の削減		
《目標未達成》		
・節水運動	◎	緑化や清掃による散水頻度の削減、雨水タンクを活用して節水に心掛けたい。
・洗車管理（時間・回数・高圧洗浄）	◎	
収集運搬における環境配慮（収集運搬車の燃費向上）		
《目標未達成》		
・燃費管理体制の定着	◎	燃費管理体制が定着できたが、集荷件数の減少により効率的な収集運搬が課題になってきている。次年も推進して行きたい。
埋葬における環境配慮		
《目標未達成》		
清掃活動回数	◎	目標未達成。能登半島地震により、総持寺への埋葬回数が減少した。復興をサポートしつつ現状回復へ努めたい。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
墓地、埋葬等に関する法律に準じる	・受入残骨の分別・保管・適正埋葬	遵守
廃棄物処理法	・処理委託基準遵守及び処理委託契約・マニフェスト照合管理	遵守
浜松市産業廃棄物適正処理条例	・産業廃棄物の適正処理（処理委託先の実地確認・記録及び保存）	遵守
自動車NOx・PM法	・対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用（車種規制）	遵守
消防法	・消防用設備の設置と維持管理 ・事故時の措置と届出（通報）	遵守
フロン排出抑制法	・フロン類使用の定期点検・記録、同保存、漏えい防止等 ・廃棄時のフロン回収義務	遵守
オフロード法	・基準に適合した特定特殊自動車の使用 ・適正燃料使用（軽油） ・点検整備	遵守
静岡県生活環境保全条例	・生活環境保全の規制（集塵機・空気圧縮機の設置届）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去３年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

EA21に取り組んだ結果、省エネ管理も視野に置けるようになったと同時に、分別作業における質量管理の重要性も認識できました。 そして、EA21 の延長上の取組としてコロナ対策BCPを継続していますが、更に自然災害へのたいさくBCPを策定し、具体化していく必要があります。 この取り組みを持続させるための実施体制として役割・責任・権限は、一定明確化し、自律性も高まってきたと思います。 なお、環境方針、目標・活動計画、実施体制について、今回変更はありません。 また、有害物取扱い基準は従業員にも浸透しつつあり、作業環境の改善への意識も高まってきています。 さらに、社会貢献事業として、公示済遺骨整理事業の法的な課題を整理しつつあり、関連団体からの問い合わせも含めて対応しつつあります。
2024年9月2日 代表取締役社長 溝口 立子

□環境活動の紹介

(株)西日本環境は、同業者とともに平成10年に自然サイクル保全事業協同組合を設立しました。
当時の厚生省から認可を受け、業界の健全な発展を目指して、下記の共同事業に取り組んでおります。



供養会参加者（2023年度）



埋葬骨供養の様子



供養会の様子

坤神山 日本寺 分骨 供養会

主催：自然サイクル保全事業協同組合

時期：毎年12月 関係者のみで実施

場所：坤神山 日本寺（千葉県安房郡鋸南町鋸山）

全国火葬動物供養祭

主催：自然サイクル保全事業協同組合

時期：毎年4月11日第2火曜日

場所：宗教法人 信栄寺（静岡県 浜松市 豊西町）



日本寺 供養参加者



信栄寺 供養風景